

## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年2月10日  
上場取引所 福

上場会社名 株式会社マルタイ

コード番号 2919

URL <http://www.marutai.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 見藤 史朗

問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長

（氏名） 松岡 悦雄

TEL 092-807-0711

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年3月期第3四半期の業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,934	0.6	727	△15.2	792	△9.8	534	△4.0
2021年3月期第3四半期	5,900	—	857	—	879	—	557	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	279.91	—
2021年3月期第3四半期	291.61	—

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、2021年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これにより、2021年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	13,055	9,078	69.5
2021年3月期	11,018	8,701	79.0

（参考）自己資本 2022年3月期第3四半期 9,078百万円 2021年3月期 8,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期 （予想）				50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,440	△4.6	630	△35.5	650	△35.1	420	△34.3	219.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。上記の業績予想は当該会計基準等適用後の金額となっており、対前期増減率は当該会計基準等を遡って適用した後の数値で比較を行っております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	1,922,000株	2021年3月期	1,922,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2022年3月期3Q	11,200株	2021年3月期	11,200株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	1,910,800株	2021年3月期3Q	1,910,831株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報) .....	6
3. 補足情報 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で抑制された状態が続きました。2021年9月末に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が全面解除され、経済活動の再開に向けた明るい兆しが見えてきたものの、新たな変異株による感染再拡大への懸念が急速に高まり、未だ予断を許さない状況が続いております。

食品業界におきましては、一定の内食需要が続いているものの、度重なる小麦を始めとする原材料価格の上昇など、経営環境は一層厳しさを増してきております。

このような状況の中で、当社では新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要の増加等により、売上高は5,934百万円(前年同四半期比0.6%増)となりましたが、損益面につきましては、原材料費等が増加したことにより、営業利益は727百万円(前年同四半期比15.2%減)、経常利益は792百万円(前年同四半期比9.8%減)、四半期純利益は534百万円(前年同四半期比4.0%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2,037百万円増加しました。これは主に建設仮勘定が1,154百万円、有価証券が500百万円増加したこと等によるものであります。

また、負債は、前事業年度末に比べ1,660百万円増加しました。これは主に未払金が157百万円、未払法人税等が127百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が1,904百万円増加したこと等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年5月11日に公表しました業績予想に変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	853,102	919,242
受取手形及び売掛金	2,303,929	2,483,003
有価証券	1,300,000	1,800,000
商品及び製品	244,228	253,432
仕掛品	45,917	46,835
原材料及び貯蔵品	68,257	99,811
その他	127,336	186,725
流動資産合計	4,942,771	5,789,050
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,482,298	1,622,981
機械及び装置(純額)	287,931	226,008
土地	1,616,618	1,616,618
建設仮勘定	1,533,242	2,687,871
その他(純額)	123,775	134,624
有形固定資産合計	5,043,866	6,288,105
無形固定資産	113,235	117,050
投資その他の資産		
投資有価証券	797,773	731,052
その他	120,646	130,319
投資その他の資産合計	918,419	861,372
固定資産合計	6,075,522	7,266,528
資産合計	11,018,294	13,055,578

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,003,555	1,083,259
1年内返済予定の長期借入金	—	288,000
未払金	627,317	469,545
未払法人税等	218,093	90,880
賞与引当金	64,279	22,050
その他	90,008	87,483
流動負債合計	2,003,254	2,041,220
固定負債		
長期借入金	—	1,616,000
繰延税金負債	110,045	113,583
退職給付引当金	131,515	134,338
役員退職慰労引当金	39,182	44,877
資産除去債務	7,777	7,777
その他	24,885	19,489
固定負債合計	313,407	1,936,066
負債合計	2,316,662	3,977,286
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,989,630	1,989,630
資本剰余金	1,989,711	1,989,711
利益剰余金	4,454,533	4,874,733
自己株式	△32,515	△32,515
株主資本合計	8,401,358	8,821,559
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	300,273	256,732
評価・換算差額等合計	300,273	256,732
純資産合計	8,701,632	9,078,292
負債純資産合計	11,018,294	13,055,578

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	5,900,350	5,934,875
売上原価	3,650,655	3,735,049
売上総利益	2,249,695	2,199,826
販売費及び一般管理費	1,392,143	1,472,361
営業利益	857,552	727,464
営業外収益		
受取利息	521	255
受取配当金	12,971	13,444
受取保険金	1,550	37,342
その他	7,797	15,957
営業外収益合計	22,841	66,999
営業外費用		
支払利息	—	1,553
保険解約損	907	—
その他	126	152
営業外費用合計	1,034	1,706
経常利益	879,358	792,757
特別損失		
固定資産除却損	268	696
投資有価証券評価損	64,579	7,870
特別損失合計	64,847	8,566
税引前四半期純利益	814,511	784,190
法人税、住民税及び事業税	231,352	227,383
法人税等調整額	25,942	21,958
法人税等合計	257,295	249,341
四半期純利益	557,215	534,848

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました販売促進費の一部を、売上高から控除しております。当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期及び前事業年度については遡及適用後の四半期財務諸表及び財務諸表となっております。ただし、収益認識会計基準第85項に定める以下の方法を適用しております。

- ・前事業年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、比較情報を遡及的に修正しないこと

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期累計期間の売上高は1,113百万円減少し、販売費及び一般管理費は1,113百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に変更はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

当社は食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 3. 補足情報

販売品目別販売実績

(単位：千円、単位未満切捨)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
棒ラーメン	2,146,528	36.4	2,086,315	35.2	△60,213	△2.8
皿うどん	1,699,853	28.8	1,649,159	27.8	△50,693	△3.0
カップめん	1,742,465	29.5	1,798,920	30.3	56,455	3.2
袋めん	268,752	4.6	349,871	5.9	81,119	30.2
その他	42,750	0.7	50,608	0.8	7,858	18.4
合計	5,900,350	100.0	5,934,875	100.0	34,525	0.6

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、前第3四半期累計期間に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。